

# CASBEE® 広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大同生命広島ビル新築計画	階数	地上14F、地下2F
建設地	広島市中区紙屋町1丁目2-10、2-11、2-12、2-27、2-28、2	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,241 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年12月9日
敷地面積	864 m <sup>2</sup>	作成者	浅野英治
建築面積	646 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	10,200 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 64% (118 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 64% (118 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 64% (118 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 1.8	スコア = 3.6
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 北面以外Low-E複層ガラスを採用。// 高効率パッケージエアコンの導入、明るさセンサーによる照明制御等によりZEB Orientedを達成。// 節水便器、リサイクル材、地球温暖化に配慮した断熱材・消火剤を採用。// 高効率設備の採用による省エネルギーを実現し運用時のCO <sub>2</sub> 排出を削減。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> /	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 耐震性向上、制振装置の採用。// EPS、OAフロア等により仕上材を痛めることなく電気配線、通信配線を修繕、更新可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される